

日本出版クラブ「洋書の森」主催
翻訳者のためのウィークエンド スキルアップ講座 第14回

翻訳家

井口耕二 氏 登壇

ノンフィクション翻訳の世界 vol.1

『スティーブ・ジョブズ』
をめぐって



いよいよノンフィクション界から井口耕二氏をご登壇となりました！
実務翻訳と書籍翻訳を両立されながら、翻訳フォーラムの主宰、日本翻訳連盟の理事など、超多忙な日々を送っておられますが、週末には趣味のアウトドアスポーツを楽しんでいらっしゃるのか。今回は、大ベストセラーとなった唯一の公式評伝『スティーブ・ジョブズ』（講談社、2011年）でのエピソードを織り交ぜつつ、その神業的な時間管理術、出版社とのつきあい方、よい訳文を作るための心得などを語っていただきます。

「現実」という縛りがあるノンフィクション翻訳、あるいは実務翻訳であっても、よい文章に関してはフィクション翻訳と重なるところが多いそうです。そのあたりも踏まえて、最適な訳語を選び、ひとつの世界を作りあげていく秘訣に迫ります。申し込み順60名限定の連続講座、今回も申し込みはお早めに！

◆ 参加要項 ◆

日 時

2015年2月14日（土） 15：00～17：00（受付開始14：30）

講 師

井 口 耕 二 氏（翻訳家）

会 場

日本出版クラブ会館・セミナールーム
（新宿区袋町6番地 都営大江戸線牛込神楽坂駅より徒歩2分）
<http://www.shuppan-club.jp/>

参加費

講座 2,100円

定 員

60名（申込順、定員になり次第締切らせていただきます）
「洋書の森」未会員の皆さまもご参加になれます
希望者による恒例の交流会（参加費3200円・食事代を含む）を講師同席のもと17時より、
会場1Fレストラン・ローズルームにて開催いたします
参加ご希望の方は同時にお申込みください

お申込み・お問合せ

お名前・洋書の森会員番号（会員の方）・ご連絡先電話番号、アドレス・参加人数を明記して“2/14(講座のみ or 講座・交流会とも)参加希望、と以下アドレス宛てに E-mailにて送信してください

(財)日本出版クラブ内 「洋書の森」事務局
E-Mail : yousho@shuppan-club.jp TEL 03(3260)5271

◆講義内容◆

1 ページの紹介にも「実務翻訳と書籍翻訳を両立されながら」とありますが、どうも、実務翻訳と出版翻訳は大きく違って両立が大変だと思われるようです。でも私は、違いは枝葉末節の部分であり、根本的には同じことをしていると思っています。それどころか、いわゆる文芸翻訳も本質は同じだと考えています（実務翻訳一辺倒だった時代に、『さゆり』を題材とした小川高義さんの講演を聴き、「文芸翻訳も、考え方ややってることは同じじゃないか」と思ったことがあります）。

今回は、まず、このあたりについて私の考え方をお話ししようと思っています。なんと言っても＜翻訳者のためのウィークエンドスキルアップ講座＞ですからね。

一方、仕事の進め方については分野によって大きく違う点がけっこうあります。その最たるものは納期でしょう。納期は、文芸やフィクションよりノンフィクションのほうが厳しくなりがちですし、実務翻訳になるとさらに厳しくなります。

このあたりについては、2011年に刊行された『スティーブ・ジョブズ』（講談社）を題材にお話しする予定です。この本は本人が唯一協力した公式伝記であり、世界同時発売という縛りがかかっていた。そのせいでスケジュールはぎちぎち。ここまでの綱渡りは実務翻訳でもめったにお目にかからないというくらいの例外的進行となりました。極端すぎて参考にならないよと言われてしまうかもしれませんが……。

◆講師略歴◆

■井口耕二（いのくち・こうじ）

父親が転勤族だったこともあり、生まれた九州と育った関東を中心として、いままでに住んだ場所が17カ所。九州弁から東北弁までそれなりにわかるようになった。

東京大学工学部を卒業後、出光興産時代に米国へ留学し、オハイオ州立大学大学院修士課程を修了。会社員時代は、石炭燃焼の研究や石炭の輸入ビジネスなどを担当した。その後、子どもの誕生を契機として、子育てに必要な時間のやりくりがつけられるようにと退職し、技術・実務翻訳者として独立。最近ではノンフィクション書籍の翻訳者としても知られる。一般社団法人日本翻訳連盟常務理事。

根っこは体育会系で、学生時代はフィギュアスケートの選手だった。最近では、運動不足解消にと乗りはじめた自転車（ロードバイク）にはまり、あっちにきつ

い坂があると聞けばのぼりに行く坂バカの道をまっしぐらに走っている。

翻訳の世界に入ったころは、会社員との二足のわらじで実務翻訳をしていた。翻訳に使っていた時間は主に通勤時間という「車内翻訳者」である。当時のノウハウを中心として電子会議室に書いた連載（「二足の草鞋の履き方講座」）がのちに書籍化され、『実務翻訳を仕事にする』として刊行されている。

出版翻訳に足を踏み入れたのは2005年（『スティーブ・ジョブズ—偶像復活』）。以降、ノンフィクションの出版翻訳と実務翻訳の二本立てを続けている。ただし、軸足はしだいに出版に移っており、2011年からは出版がメインとなっている。

翻訳者としての基礎は、二足時代に出会った@niftyの翻訳フォーラムで議論を通じて身につけた。昔、芸術的印象点などというファジーな採点方法のフィギュアスケートをしていたことが、いま、評価法があるようなないような翻訳をするにあたって役に立っている面も。翻訳フォーラムについては、その後、運営を引き継いでいまにいたる（いまはSakinoさんと共同で主宰している）。

著書

『実務翻訳を仕事にする』（宝島社新書）

主な訳書

『スティーブ・ジョブズ（I・II）』（講談社）、『沈みゆく帝国』『スティーブ・ジョブズ 驚異のプレゼン』『ジェフ・ベゾス 果てなき野望』『リーン・スタートアップ』『ウィキノミクス』（以上、日経BP社）、『アップルを創った怪物 もうひとりの創業者、ウォズニアック自伝』『レスポンシブル・カンパニー』（以上、ダイヤモンド社）、『リーダーを目指す人の心得』『ぼくがジョブズに教えたこと——「才能」が集まる会社をつくる51条』（以上、飛鳥新社）、『スティーブ・ジョブズ—偶像復活』（東洋経済新報社）、『閉じこもるインターネット』（早川書房）、『ブログ誕生』（NTT出版）

ウェブサイト

Buckeye the Translator
<http://buckeye.way-nifty.com/>

翻訳フォーラム

<http://www.maruo.co.jp/honyaku/>